



三春中学校だより

第 33 号

発行日 令和 元 年 1 0 月 8 日

発行所 三春町立三春中学校

電 話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【築き上げてきた伝統を後輩へ！ ～生徒会の伝統が新生徒会役員に引き継がれます。～】

朝、校門であいさつをしていると、校舎の方から3人の生徒さんが校旗を抱えながら掲揚台のところへ向かっていました。

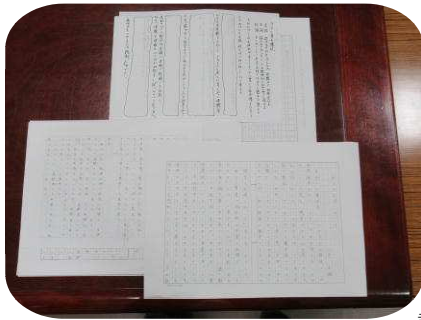
どうしたのかなとみていると、先日行われた生徒会役員選挙で当選した役員の子に先輩役員が引継ぎをしているところでした。

文化祭のテーマである『全校生が誇りに思える新たな伝統』をつくるために、新生徒会役員は、これまで現生徒会執行部が築き上げてきた伝統を理解し、自分たちなりの生徒会活動にしていくこととなります。

『ローマは一日にしてならず。』です。先輩のみなさんが築き上げてきたものを大切に、全生徒が一丸となって生徒会活動にそれぞれの場で取り組み、そこで得られたかけがえのないものを次の生徒会に引き継いでいけるよう、『共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに』、地道でありながらも着実な取組を期待します。



【3作品、見事完成しました！ ～時間をやりくりし、中身の濃い作品をめざしました。～】



先の学校だよりでお知らせした3年生の作文が見事完成し、3点ともコンクールに出品いたしました。

3年生の子どもたちは、社会科で人権について学び、1枚の作文を社会科の授業の中で仕上げました。それらすべてに目を通した結果、とてもすばらしい視点で文章をまとめている5点の作文が目にとまりました。

何とかさらに深い学びにつなげたいと5名の生徒さんに声をかけたところ、お知らせしたとおり、3名の生徒さんが答えてくれて、2名の生徒さんはきちんと断りの手紙を寄せてくれました。

それから3名の生徒さんとの作文学習を進めました。作文構成表で大まかな作文の構想について考え、作文の構成法である「序論・本論・結論」に則り、「今日は序論だけ」「今日は本論に挑戦

してみよう。」「これまでの表現をまとめ伝えたいことをはっきりさせよう。」と段階をおって作文に挑戦しました。

途中、土曜・日曜もあり、テスト勉強もあったため、3名の生徒さんにはできるだけ負担が少なくなるよう配慮したつもりでしたが、何かと忙しい3年生にはたいへんなこともあったでしょう。そして、3作品は見事完成しました。原稿用紙4～5枚にもなった作品には、3名の生徒さんの成長や視野の広がりがよく見て取れました。

文字を書くことは、文字を書かなくなった現代の子どもたちにとって少なからず抵抗感を感じるものであり、事実、子どもたちの多くが作文となると、「何を書いていいかわからない。」というような感想を漏らします。しかし、作文を書くことは、自らの考えをまとめ、確認するよい機会となります。言葉の数も増え、相手意識も高まり、伝えることの喜びも感じることが出来ます。声をかけた5名の子どもたちには、たいへんだけど、そんな経験をしてほしいなという思いがありました。

とてもがんばった5名の生徒さんについての報告でした。

【創り上げる『命の輝き』！～限られた時間の中、共に、ひたむきに、こころ豊かに。～】



お昼休み、開かれた校長室の扉から歌声が聞こえてきます。三春中学校文化祭『HARU FES』の合唱コンクールにむけた練習がコミュニティーガーデン（CG）と体育館で始まりました。

あと3週間をかけて、自分たちが選んで合唱曲を仕上げ、本番に臨みます。その練習態度には真剣さと楽しさの両方が感じられます。コンクールで最高の演奏を披露しよう、友達と共有できるこの時間を大切にしようという姿です。

10月19日（土）までわずかの時間ではありますが、短期集中で取り組み、すばらしい成果を披露していただきたいと思います。HARU FESテーマ『Be proud of…～新たな伝統を～』どおり、今の三春中学校の生徒さんにしかできない取組を見せ、テーマが実現されることを心より願います。

【われ、かく戦えり！ ～先輩にまけずに自分たちもがんばりました。～】

早朝の月が地表を見つめる季節。3年生から部活動を引継いだ1・2年生たちの田村支部中体新人大会が9月25日（水）・26日（木）の両日行われ、人数不足等で合同チームが散見する中、本校よりはすべての部活動が参加しました。

早朝6時15分が最初の出発部活動でしたが、6時前に学校に行ってみると、すでに生徒昇降口前

のベンチに座り、他の部員を待ち構えている生徒さんの姿がありました。

出発のあいさつをきちんとし、そのままスムーズにバスまで移動する部、円陣を組んで気合いを入れてから出発する部など、さまざまな出発風景でした。各競技会場におきましても、精一杯声を出し、監督・コーチの指示を真剣に聞き、勝利をめざす真剣なまなざしがあるところにはありませんでした。

新人戦は、来年の総合大会につながるため、これまでの練習の成果と今後の課題について見極めるための大会でもあります。県中大会に進む部は大会までに軌道修正し、来年の総合大会をめざす部は短期と長期の目標を設定し、新たなスタートを切ってください。

保護者のみなさんには、これまでのご支援ありがとうございました。今後とも変わらぬみなさんのご声援、お励ましをどうぞよろしくお願いいたします。



【4名の保護者のみなさん、あいさつ運動、ありがとうございました！】



9月30日(月)、10月1日(火)の両日、PTAのみなさんによるあいさつ運動が行われました。この週は都合で校門へ向かうのが遅くなり、外に出てみるともうPTAのみなさんと先生方が生徒昇降口の前であいさつ運動をしてくださっていました。生徒会役員選挙の演説の中にも、あいさつの大切さを訴える候補者が多くいました。これまでの生徒会総会の中でも、三春中学校のあいさつについては一つの課題となっていて提案されていました。生徒や先生方、保護者のみなさんが一緒になって、温かなあいさつの飛び交う“全校生が誇りに思える新たな伝統”を確かなものにしていきたいものです。

PTAのみなさん、先生方、早朝よりありがとうございました。